

様式 A-1  
(FY2018)

平成 30 年 7 月 7 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 駒場東邦高等学校 松岡雅忠
2. 講師氏名: Dr. Laura Lander
3. 講義補助者氏名: 小武方 智宏 氏
4. 実施日時: 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 10:30 ~ 12:10
5. 参加生徒: 2 年生 220 人 (合計 220 人)  
備考: (普通科の生徒)
6. 講義題目: The Science of Batteries
7. 講義概要: 講師の母国であるドイツの文化を紹介から始まり, 研究者を目指したきっかけ, 電池の歴史を紹介頂いた。また, ご専門であるリチウムイオン電池を例に, 未来の社会に科学がどう貢献できるかを語って頂いた。
8. 講義形式:
  - 1) 講義時間 60 分 質疑応答時間 40 分
  - 2) 講義方法  
プロジェクター使用による講義
  - 3) 事前学習  
○無  
使用教材 \_\_\_\_\_
9. その他特筆すべき事項:

講演で使用するスライドの縮刷版を当日朝の朝礼で配布し, 質問事項を英語で考えておくよう指示した。

様式 A-4  
(FY2018)

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。  
( 学校に送付されたパンフレットを拝見し、応募しようと思いました。 )
2. 事前打ち合わせについて  
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
  - 1)  2回以上面談       1回面談       メール       電話  
 その他( )
  - 2)  直接講師と       講義補助者を介して       高校の英語教諭の協力  
 その他( )打ち合わせ内容を教えてください。  
( 講演内容、生徒の(講演内容に関する)授業での学習状況 )
3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？  
 理解できた。       ある程度理解できた。  
 あまり理解できなかった。       全く理解できなかった。
4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？  
 専門性が高く、難解だった。       ちょうど良かった。  
 より専門的な内容を講義してほしかった。
5. 事前学習は行いましたか？  
 行った(具体的な内容: )  
 行わなかった
6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？  
( 将来、海外で学びたいという生徒が増えてきていますが、実際に留学している講師の話の聞けて、イメージを持たせることができました。また、自分の英語力を知る機会になったと思います。同級生が英語で質問している姿に触発される生徒も多くみられました。 )
7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？  
 良かった       普通       良くなかった  
  
( 良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。  
ワールドカップのシーズンだったこともあり、プレゼンでもヨーロッパのことに触れて頂いて、科学だけでなく文化にも関心を持つことができました。なお、英語の聞き取りには、日本人による講演よりもスピーカー音量を上げたほうが効果的と分かりました。 )
8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。  
( かなり前から行われている事業ということが分かり、もっと前から存在を気づいていればよかったと思いました。 )
9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？  
 是非活用したい       機会があれば活用したい       活用したくない